明治四十一年創業　中山道高宮宿
tanakaya-communication
田中家通信
全優石 全国優良石材店
株式会社 田中家石材
VOL. 36
発行／株式会社 田中家石材
住所／彦根市高宮町1081
電話／0749(22)5888
HP●http://www.tanakaya-sekizai.com/
Mail●info@tanakaya-sekizai.com

明けましておめでとうございます。

お正月はお盆と共に本来、歳神さま・氏神さま・ご先祖さまをお迎えし、楽しいひとときを過ごし、また帰っていくという日本古来の信仰に基づく行事です。

お正月に里帰りをされたときは、氏神さま・お仏壇・お墓参りをしましょう。

また、もうひとつ大切なことがあります。それは、**家族がそろって仏間のお仏壇の前でいっしょに、〝おせち料理〟をいただき**、その団欒の中で、それぞれ**旧年の反省と新年の抱負を述べ、近況報告し、特に先祖、故人の思い出話しに花を咲かせ、共にお酒を飲み、食事をすることが供養になり喜んでいただける**大切なことだと思います。

せめて**家族そろったときは、氏神さまに初詣に行き、家族そろってお墓参りをされてはいかがでしょうか。**

遠方で帰郷できない場合は、近隣の神社（氏神さま）に初詣に行き、そして同じ宗派のお寺にお参りをして、ご本尊に手を合わせ先祖の往生を願い、日頃の感謝の気持ちを伝えることが大切です。

神社と神の使い（眷属）

日本には、「○○神宮」と呼ばれる神社はたくさんあります。

しかし、**「神宮」**の二文字で呼ぶ場合は、日本の神社の頂点である**「伊勢神宮」**を指します。

ところで、伊勢神宮を参拝すると境内にニワトリが放されています。これは、天照神（アマテラス）が天の岩戸にとじこもったときに、**常世の長鳴鳥（常世の国からきたニワトリ）**を集めて鳴かせたことに始まります。

ニワトリは鳴き声で夜明けを知らせ、鳴くことで天照神の出現を知らせる「伊勢神宮」の眷属です。

この他に、『キツネ・ハト・シカ・ウシ・カラス・ウサギ・サル・カメ・オオカミ』などあり、さまざまな神社で眷属がいます。

お墓参りとお掃除

お墓参りとは「お墓掃除」といっても過言ではありません。**家の掃除をするように先祖のお墓もきれいに掃除**したいものです。

寺院墓地の場合は本堂のご本尊に手を合せて、ご自身のお墓にお参りしましょう。**墓石本体に磨きが**入っていて、**比較的ツヤがある墓石**は、**スポンジやタオルを絞って墓石全体を拭いて**あげると、ある程度きれいになります。

墓石のつなぎ目の隅に黒く付着している汚れは水垢なので、かなり頑固です。**専用の水垢とりでこする**ときれいになります。

花筒はステンレス製がほとんどですが、あまり長く置くと、水が腐ってきます。少しでも長持ちさせる為には、**十円玉を一枚花筒の中に入れておく**と、銅イオンの作用で効果があると思います。

それ以前の**古いザラっとした墓石は**、中まで汚れが染みているので、**タワシでゴシゴシ洗う**しかありません。お酢を三倍ぐらいに薄めて墓石全体を濡らし、暫くしてから、たわしでこするとお酢の漂白作用できれいになると思います。しっかり水洗いしてください。（磨いてある墓石は勧めません。）

「お供えは？」

お供えはお参りされた後、お下がりとなります。お持ち帰りになって「直会（なおらい）」として、皆さんで頂いてください。お酒やビールは、変色の原因となりますので、墓石にかけたりせず、廻りにまくか、お供えの後お持ち帰り下さい。

（ご先祖は頭から飲まれません）

『樹木葬』

樹木葬は、費用面で墓石建立ほど費用がかからないという点や環境面で自然に対しての負担が少ないという点から最近取り上げられます。

本来の樹木葬は遺骨を納めたところに木を植えてあるのですが、最近よくある樹木葬は決められた場所に数本の木を植え、その周りに遺骨を納めて亡くなられた方の名前を彫った小さな板石を置くだけです。

そして、**『短期間』で合葬墓に移されます。**

個人的に墓地の型は「ペットのお墓」と同じだと感じますし、「ペットのお墓」の方が「佛様」を安置して、お墓や納骨堂に「骨」を納めています。「何回忌」の案内の通知も来ます。

「樹木葬」「散骨」は安く上がるかもしれません。しかし、「樹木」に手を合わせたところで、故人の存在を確認しづらいし、「樹木」に手を合わせても、お墓参りした気になれないと感じるようになってくるのは、先祖を始め、祖父母や両親への想いを感じにくいということなのかもしれません。

やはり、**「お墓・仏壇」は、生きている人間ではなく、ご先祖と亡くなった方の為に存在する**のだと思います。

「お仏壇」のご本尊は「植木」ではありません。「お墓」も同じ事です。せめて、「佛様」を含め「ご本尊」の元に葬って上げてほしいと心から思い願う次第です。

『捨骨』

「散骨」ではありませんが、ひどいのは**「捨骨」**というか**「遺骨遺棄」**です。電車の網棚にわざと忘れる。しかも、火葬証明書は抜いてある。JRであればどこかに納めてくれるだろうという魂胆のまさしく確信犯だと思います。また、スーパーのトイレに焼骨後のお骨を置いて帰るなど、ニュースにもなったそうです。さらにひどいのは、他人のお墓の中に勝手に納骨して帰ってしまうというケース。

「納骨する際、知らない骨壺が入っていた。」というお坊さんの話です。

散骨業者の実態

散骨の捉え方は、「節度をもって行うこと」という事が国の認識としてあります。お墓のお骨を移す時は改葬許可が必要で散骨に於いては必要がない事に疑問を感じます。先日、全優石と漁協組合の方との会合があり、そのなかで、海洋散骨を港で行っているという事実を漁協に携わっておられる漁師さん達が全くご存知なく、県に対策を取ってもらうと憤慨されてました。

散骨業者も、それと分からないように喪服ではなく、観光客を装っているそうです。山への散骨も水道局の水源近くで行った為、自治体で問題になっているそうです。

他人に迷惑をかけてまで、供養になるのでしょうか。

田中家石材編集部より

あけましておめでとうございます。私どもは、お墓を建てる仕事を仰せつかって私で三代目、おかげ様で百年になります。四代目も娘でありますが、現在修行中です。お墓を建て、お仏壇を造っても仏事や墓参をしなければ、何の意味もありません。お墓・お仏壇は、その家の根っ子であり、お仏壇の給仕とお墓参りを行い、年忌法要を行っておられるお家は、祖先崇拝の恩恵を受け、一家の繁栄と家族がみんな幸せになっていくと思っております。お墓は死者の家ではありません。祖先を祀り、感謝と祈りの祭壇であり、氏神や鎮守の神に連なる祭壇だと思っております。

祖先や親の墓を美しく保ち、祀り事を欠かさず行うことは、祈りの心が先祖の心に通じ、家内平和、無病息災を見守って頂けるものと信じます。特に、お正月、春秋お彼岸、お盆には必ず、お墓、お仏壇にお参りしましょう。

弊社は、祀り事の具体的な方法をはじめ、お墓・墓地の改祀等、ご相談させて頂きながらお手伝いさせて頂きたく思っております。

滋賀県南部の石材店では、水口町の㈲徳田石材さんをお勧めいたします。

本年、みなさんにとって佳き一年でありますように。

合掌

【石を売る石屋ではなく、ご先祖に喜んでもらえる墓屋になることを目指しています。】

日本で初めて「品質」「施工」保証書発行。お客様のニーズにお応えします。設計から納骨、開眼供養まで一生に一度の大切なお買い物だから安心できる価格をご提示。墓地・霊園のご紹介から手続きまでご相談ください。

●技術資格／厚生労働大臣認定　石積一級技能士　厚生労働大臣認定　石貼一級技能士　厚生労働大臣認定　石材加工一級技能士　◆松下電工労働組合加盟店　◆プリデストン生協加盟店　◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店